

第63回放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成29年8月22日 18時30分開始

2. 開催場所 FMぎんが 会議室

3. 委員の出席

委員総数 8名

委員出席 6名

出席委員の氏名 加藤俊文委員長 吉見満雄委員 福永領子委員 堀嘉郎委員
下吉秀知委員 中間隆志委員

放送事業者側出席者 中崎宗治代表取締役社長 中崎啓文局長 濱田英作 寺原孝則

4. 議題

番組中の防災放送割込についての意見交換行った。

5. 議事の概要

平成29年7月11日に発生した、震度5強を観測する地震発生に関する割り込み放送を受けて、番組中の防災放送割込についての意見交換行った。

6. 審議内容

委員からの意見

- ① 今回の地震については、第一報を発信した担当者が発信内容の整理が瞬間的には難しかったとの報告をしてくれたことから考えて、地震第一報で伝える内容は、資料としていつでも整理できた形で取り出せる状況にしておくことは当然のこととして、音楽放送中などに担当がいなくても備えて、音声素材としてポン出し環境に入れておくという状況を整えるべきだ。
- ② 施設によっては、地震の揺れを仮想体験できる施設もあり、強震度の体験はどこかでしておいたほうがいい。
- ③ 現在の世界情勢を考えれば、他国からミサイルが飛んだときの第一報の内容を整理した形で同様な準備をしておかねばならない。
- ④ 場合によっては坂之上送信所からも、割り込みできる状況が必要なのでは？
- ⑤ 他地域の事例で言うと、災害放送を担当した者が「防災士」の資格を持っており、放送

としてもその知識が活かされたということもあるようだ。スタッフ教育・知識の蓄積として平常からそのような準備があってもよいのでは？

7. その他連絡事項

次回番組審議会を平成29年9月19日（火）18：30より開催する事を確認した。

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

- ① 自社放送：平成30年1月17日午前9時からの音楽番組の前半に特番で放送
- ② 書面の備置き：平成30年1月17日から、当該事項を記載した書面を事務所へ備置き
- ③ インターネット：平成30年1月24日から、自社ホームページに内容を転載。

以上 議事録作成 濱田 英作